

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月11日(木)

事務事業		消防団運営事業				担当課	消防総務課	担当係	総務係	管理番号	50121
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち				事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務			
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり				根拠法令 個別計画等	深谷市消防団条例 深谷市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例			
	小項目	2	消防・救急体制の充実								
	主要プロジェクト										
事業概要		地域の消防体制を推進するために、消防団体制の強化、並びに消防団員の福祉共済制度や公務災害補償等に参加することにより、消防団の円滑な運営を図っている。									
目的 ※何のために		火災等の各種災害による被害の軽減を図り、更には地域防災力を高めることにより地域の安全安心を守るため。									
対象 ※誰・何を対象に		深谷市消防団（1本部（女性分団含）及び、25分団）									
手段 ※どのように		処遇の改善、災害・傷害補償、備品購入、各種研修及び訓練を実施する。									
成果 ※何を求めるか		消防団員の士気の高揚及び、団員数の確保、装備品を充実させ、消防団活動の充実を図る。									
執行体制		☒ 職員 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他（ ）									
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名		前年度決算額（円）
		一般会計	9	消防費	1	消防費	2	消防団費	消防団運営事業		69,079,801
		一般会計	9	消防費	1	消防費	4	水防費	水害対策事業		325,339
本事業の 主な業務		・ 消防協会事務						・ 消防団員の被服、装備品の調達、貸与、管理			
		・ 消防団員の任免						・ 入団促進、充実強化に関する業務			
		・ 消防団員公務災害の認定請求、補償請求						・ 水防演習の実施			
		・ 特別点検、出初式等式典事務						・			
		・ 消防団員の災害出場、訓練、演習事務						・			
		・ 消防団員への報酬支払						・			

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	83,644,000	76,315,000	79,349,000	73,690,000	76,074,000	
	決算額	73,933,816	72,571,968	78,024,392	69,405,140	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	9,815,000	4,989,000	11,230,000	6,107,000	7,565,000
		一般財源	64,118,816	67,582,968	66,794,392	63,298,140	68,509,000
人件費	従事職員数（人）	0.70	0.70	1.10	0.85	0.90	
	人件費相当試算※	5,508,690	5,607,116	9,044,466	7,205,530	7,927,640	
総事業費試算		79,442,506	78,179,084	87,068,858	76,610,670	84,001,640	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	消防団 P R 活動実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		当該年度に計画した消防団 P R 活動を全て行うことを目標とする。/実績数／計画数×１００							
	実績値の算出式									
活動指標 2	研修実施（推薦）率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		100.00	100.00	100.00	100.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		支部（現地研修、支部研修）、県協会（往警署研修、女性団員研修、初級幹部等の研修） / 実績数／計画数×１００							
	実績値の算出式									
成果指標 1	消防団員定数充足率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		実績値		94.92	96.19	93.90	94.16			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		充足率１００％を目指す。 / 実団員数／条例定数×１００							
	実績値の算出式									
成果指標 2	災害・演習訓練等出動回数	目標値								
		実績値		552.00	1,154.00	1,123.00	1,070.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		災害発生件数を見込むことができない。 / 消防団の出動回数実績							
	実績値の算出式									
成果指標 3	災害・演習訓練等出動延人数	目標値								
		実績値		2,994.00	5,973.00	5,911.00	6,317.00			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		災害発生件数を見込むことができない。 / 消防団員の出勤人数実績							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	消防団入団促進の啓発活動は、各自治会支会会議、管内教育機関（大学等）、消防フェアなどで、消防団の活動説明を行い理解を得ることに努め、計画的にチラシ、ポスターを配布することができた。 また、研修については、第73回利根川水系連合総合水防演習の視察、埼玉県消防学校にて実施される各種研修（消防団員基礎教育など）に参加して知識向上のため充実した研修を受講した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	消防団員定員の充足率は、94.16%と昨年度より約0.3%増加している。深谷市消防団は、全国の充足率と比べると高い水準であり、実災害においては体制は十分に効率化が図られているが、将来的に持続可能な組織を考慮すると拡充が必要であり、入団促進に際して中心的な役割を担う副支団長を新たに設けたことで、入団促進の維持向上に努める。また、消防団員の装備の充実化を図るため防火服などを更新した。
			評価者 課長補佐兼総務係長 倉上 正

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	消防団活動における災害出動や訓練など、前年度同様の内容で低迷せず推移している。 今後、持続可能な消防団組織を維持していくため、活動時の安全管理の充実や消防団が行う各種申請事務の効率化を図り利便性の向上を行っていくため、処遇改善の観点からDX化を推進していく必要がある。
			評価者 課長補佐兼総務係長 倉上 正